

拝啓

私は鈴木美代子申します (顧客番号 861-242-402)

去年は西へ東へとツアーに参加させて頂き有難うございました

お正月を過ぎてから写真の整理や旅日記を書き終え、旅仲間とのハプニングや個性的な同行者の方々との思い出に浸りながら冬眠しています

こんなに楽しかったんだから・・・と自分に言い聞かせて納得しようと思ってもパートナーさんの心無い言葉が楽しい思い出と共に蘇えり・・・このままでいたら心に傷を負ったパートナーさんが増えるのでは・・・と考え伴流さんにお手紙を差し上げました。

どうかご一読頂き「こんな些細な事は気にするべきではないです」と言われれば自分で納得するつもりです。

まず黒田幸子さんのスイスでの事

ツェルマットからの氷河特急の中で・・・素晴らしい景色を眺めていたら感動で涙が流れてしまいました。 前の座席にいた宮下さんと松崎さんが「どうしたのよ」・・・私は寝たきりで寝返りさえも出来ない闘病期をお話してこうして海外旅行している自分が夢を見ているようです・・・と話しました。

二人とも感動してもらい泣き・・・離れた座席にいた黒田さんが突然飛んで来て大きな声で「どうしたの!!喧嘩しているの??」周りで話に耳を傾けて居た人達も呆然・・・勿論その場がしらけてしまったのは言うまでもありません。話の内容も確認せずにその場に割り込んでくるのはどうかな・・・と思います 帰りの成田 X の車中에서도辻さんへの不満と悪口を私に向かって平気で言っていました。その後で「又鈴木さんとご一緒したいわ・・・今度は何処ですか??」

「10月にブラジル申し込んであるけど」 「ブラジルですか??ハ・ハ・ハ・」 笑った理由は分からないけど二度と黒田さんとはご一緒したくないな・・・と痛感しました。

6月の北海道の時・・・間宮さんと言う場を盛り上げて下さる楽しい方とご一緒させて頂きました。 一人参加同志という事もありすぐ打ち解け楽しい旅でしたが、帰路の釧路空港で待ち時間に他愛もないおしゃべりの中で血液型の話になり、黒田さんが「間宮さんは何型」??「私はB型よ」黒田さんがすかさず「やだあ間宮さんと一緒なんてショックだわ」「まあ失礼しちゃうわ・・・」私が「私はニイ型」だよ・・・場がしらけたから誰も受けてくれない・・・間宮さんは怒って待合室の隅っこに行ってしまった。私は黒田さんに「書いた文字は消せるけど一度口に出した言葉は消せないのよ」とたしなめました。帰宅してから間宮さんからお手紙を頂き「折角楽しい旅だったのに最後であんな失礼な事言われてとても嫌だった・・・」 私はとても悲しくなり間宮さんに誤りの言葉と又何処かでご一緒しましょうね・・・の言葉を添えてお手紙を書きました。 今年頂いた年賀状には又一緒に行きましょう・・・の添え書きがあり嬉しくて再会を楽しみにしています。



もう一人はブラジルでホーターさんをしてくれた岡崎芳子さん・・・
成田を飛び立ってまもなくの事です・・・「鈴木さんはどうして家族と来ないの
ですか?」「???エッどうして???と言う人がいるからホーター制度と言う
有り難い制度を考えてくれた人がいて、その制度に賛同してホーターとして
登録しているのではないですか??」 ノドまで出て来た言葉を飲み込み
「飲み助の主人と一緒に旅を楽しむ気持ちにはなれない」とありきたりの
言葉で応じていましたが、これで納得した訳じゃなかったんです
コロンバートの丘への登山電車の中で又同じ質問をして来ました・・・私は少し
呆れてしまい無視して外の景色を眺めてたけど、情けなくて虚しい気持ちに
なったのは事実です。

私たち障害者は誰かの手助けがなければ旅が実現しない・・・だから少しの
負担をして夢を実現したいと願って参加しても、自分の不平不満だけを言い
身障者を理解してくれていない人もいる事を知ってほしいです。
生活環境の違う人達と一緒に旅をするという事はお互いに妥協する心を持た
なければ一週間をともに過ごすのに歪みが生じるのは当たり前だと思うの
ですが・・・

伴流さんがホーターさんの講師をしていらっしやるとお聞きしたので勉強会で
話の隅っこにでも取り入れて頂ければと思い勇気をだしてお手紙書きました。

「自然遺産」認定直前の知床ではクルザーでの知床半島遊覧を楽しみ・・・
スイスでは雄大なマッターホルンから生きる「勇氣」を、そして足元の土など殆ど無い
ような岩肌へへばりつくように咲いていた小さな花からは「力強さ」を
もらい帰路チュリッヒからローマへの機窓からは雲の上にニョッキリと顔を出して
いるマッターホルンが見えた時は涙がポロポロこぼれて止まりませんでした・・・
ロシアではカテリナ宮殿の贅を尽くした豪華絢爛さに圧倒したり、旧式のハヴリ
鉄道では遠い昔の郷愁を感じたり・・・
ブラジルではグアスの滝で泥水の洗礼を受け、アマゾンでは獰猛なピラニアを食し
大河アマゾンの不思議「リモネの奇跡」を眺める旅を経験させて頂きました。
これもひとえにバリアフリーツアーを企画して下さるクラツさんと毎回使命感に燃える
添乗員さんとホーターさんあっての事と感謝しております。
辛い闘病生活を耐えてきた神様からのご褒美と思い体調に考慮しながら
ツアーに参加させて頂くのを楽しみにしています

拙い文章で読みづらいかも知れませんが、無能無学の私ゆえご了承下さい
季節柄寒暖の不安定な日が続くと思いますが、どうぞ体調に留意して
お過ごし下さいませ

2006年3月

鈴木美代子

